

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	現状として新規入居者様は入居されると、空いている場所(食席)に座っていただく事が定義となっていた。尊厳や人格の併せての対応が疎かになり、利用同士のトラブルが多い状態となっていた。	新規利用者様が入居初期の段階からトラブルにならないように事前に把握しておく事が必要。	新規入居者様の現状を初期の段階で把握していても日々の生活の中で変化がみられれば即対応をする。利用者様の担当職員の配置をする。	6ヶ月
2	47	利用者様の服薬の変化(処方変更)等があると看護師が対応し薬の変更を実施していた。薬の変更に対応してはいるが看護師だけに頼っている傾向にあった。	各利用者様の担当性を設け尚且つ、ユニット内で共有をする。	往診時の処方の変更等があれば、服薬変更記録(ノート)を作成し担当ユニットで共有漏れを無くす。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。